



幹 事 連 絡

平成27年1月9日

午後10時10分

(問い合わせ先)

清水海上保安部

交通課長 柏木秀美

電話 054-355-0225

下田海上保安部

交通課長 星野宏和

電話 055-823-0145

## 広 報

### 平成26年静岡県周辺海域における海難の現況 《速報値》

静岡県周辺海域における平成26年の船舶事故、人身事故（プレジャーボート等乗船中の事故及びマリンレジャー活動に伴う海浜事故等）の発生状況は、船舶事故隻数47隻、船舶事故に伴う死者行方不明者は1人で、人身事故者数は129人、うち死者行方不明者は57人でした。

船舶事故隻数は、昨年に比べ7隻減少し、船舶事故に伴う死者行方不明者は1名増加、人身事故者数は昨年に比べ38人増加、うち死者行方不明者は20人増加と、昨年を上回る結果となりました。

船舶事故の主な内訳は、プレジャーボートが25隻（53%）、貨物船（タンカーを含む）が10隻（21%）、漁船が7隻（15%）でした。

人身事故者129人の内、マリンレジャーに伴う海浜事故は62人（前年42人）で、その内死者行方不明者は24人（前年12人）でした。

#### 【平成26年の傾向】

##### ○船舶事故

##### 《静岡県東部・中部・西部地区》

過去5年間の船舶事故では、プレジャーボートが64%（132隻）を占めており、平成26年においても50%（18隻）と、半分を占めています。

また、平成26年のプレジャーボート事故のうち、4隻が水上オートバイによるものでした。

過去5年間の水上オートバイの事故の合計は4隻であることから、平成26年は水上オートバイの事故が多かったといえます。

#### 《伊豆半島地区》

貨物船（タンカーを含む）やプレジャーボートの事故は、平成24年から減少し平成26年は4、5年前に比べ半減しています。

平成26年の船舶海難による死者は、プレジャーボートの操船不適切によるものです。

#### ○人身事故

##### 《静岡県東部・中部・西部地区》

マリンレジャーに伴う海浜事故24人のうち9人が外国人（昨年は1人）であり、うち4名が死亡しました。

平成26年は外国人の人身事故が多かったといえます。

##### 《伊豆半島地区》

事故者の半数以上39人が県外からです。

発生種別では、遊泳中13人が最も多く、次いで釣中12人となっています。

死者等では遊泳中が最も多く8人、事故者数に占める死者等の割合が最も多いのは釣り中5人であり、遊泳中及び釣り中ともに死者等が前年の2倍近くに増加しています。〔（遊泳中：前年4件、今年8件）、（釣り中：前年2件、今年5件）〕

サーフィン中の事故が急増しており（前年0件、今年6件）、このうち半分の3人はサーファー同士の衝突に因るものです。

## 1 船舶事故

平成26年の事故隻数は47隻、船舶事故に伴う死者行方不明者1人

	22年	23年	24年	25年	26年
事故隻数	54 (2)	98 (4)	34 (1)	54 (0)	47 (1)

( ) 内は死者行方不明者数を再掲

## 2 人身事故

平成26年の事故者数129人、うち死者・行方不明者57人

	22年	23年	24年	25年	26年
事故者数	105 (52)	87 (47)	122 (61)	91 (37)	129 (57)

( ) 内は死者行方不明者数を再掲

## 【船舶事故事例】

7月27日、2台の水上オートバイに3名・2名に分乗し遊走中のところ、荒天のため2名乗船の1台から両名が転落、3名乗船の1台が転覆、5名は付近プレジャーボートに救助された。

同日他に1台の水上オートバイが機関故障を起こし漂流、巡視艇により乗員2名が救助された。

## 【人身事故事例】

- 1) 7月27日、遊泳中に行方不明となった男性1名（県外在住者）が、漂流22時間後に自力で上陸救助された。
- 2) 8月6日、遊泳中の男性2名（県外在住者）が流され行方不明となり、10日に遺体で発見された。
- 3) 8月15日、遊泳中の男性2名女性2名（外国人）が沖に流され、女性1名は付近サーファーに救助され、男性1名は死亡、残る2名（男性1名、女性1名）は行方不明となり、8月17日、18日にそれぞれ遺体で発見された。
- 4) 10月12日、防波堤で釣りを行っていた男性3名（外国人）が高波を受け海中転落、2名は消防等により救助され、1名は行方不明となり、10月15日遺体で発見された。